

真田丸関西一泊一日の旅

65期「蕨の会」8人が参加

65期有志による埼玉県の名所・旧跡を探訪する「蔵の会」は、大河ドラマ「真田丸」の余韻がまだ残つてゐる2017年春に関西一泊二日の旅を実施しようと計画してきた。

5月16日関東の同期7人は、新大阪駅でツアーコンダクターをお願いした関西在住の山岸敏夫君と合流、最初の目的地大阪城へと向かった。豊臣の栄華に思いを巡らせながら、三光神社・玉造稻荷神社を訪れ、さらに真田丸の跡地を目指してひたすら歩く。心眼寺それから真田丸顕彰碑前で記念写真を撮った。そして幸



九度山の喜田ミュージアムにて

田家ゆかりの地を
巡る旅であつたが、
今でもこれらの場所に
所に六文銭が見られることに感無量
れることに感無量
の思いがした。

2日目は一路高野山へ。最初の目的地蓮華定院に到着。院の前には六文銭の門灯が掲げられており、宿坊の隣にある真田信之・信政親子の墓所でお参り後、バスで奥の院へ移動した。入り口から弘法大師御廟までの2キロの石畳の参道両側に並ぶ有力大名の墓所に圧倒された。さらに総本山金剛峯寺では多くの部屋を巡り、新別殿広間で接待のお茶と菓子を車座で楽しんだ。

そして最終目的地の九度山へと向かつた。真田庵に近接する真田ミュージアムでは副館長に館内を案内してもらい、真田一族の歴史のおさらいをして九度山を後にした。

同期大阪組の3人と合流し計10人にて懇親会を開催、高校時代の思い出話等で楽しいひと時を過ごすことができた。

宿本陣(柳澤家)の主屋を見学。
信大織維学部の先が上田宿入り口
科野大宮社の前を通り、横町、海野町へ。
原町、柳町へ。柳町は古い商家が残り
街道の雰囲気を伝えている。紺屋町へ。
西脇を過ぎて新町地区で街道は右
して矢出沢川に架かる橋を渡る。
の角にある丸山邸の石垣は、維新
上田城から移築したもの。ここか
戻つて、芳泉寺、上田城跡を見学
て、上田高校近くの旅館で宿泊。翌日
丸山邸の先を右折して秋和の里、

6月3日大屋駅から歩く。大屋
社には日本海海戦の翌年、東郷元
が千曲川で舟遊びをした時的小舟
掛けられている。神川橋を渡り、
分尼寺跡の近くに移転している上

種の里・塩尻へ。清水家には加賀の廁が残る。殿様はここで休憩し、無事に岩鼻の難所を越えたことをえる文を出したとのこと。岩鼻を見上げて通り、鼠宿へ。

た金を積み替えた金附場跡、武州加州道中堺の碑を過ぎると、碓冰峠に次ぐ難所といわれた小玉坂を上る。落影集落を過ぎると古間宿、鳥居川を渡ると柏原宿。一茶の旧宅、村の鍛冶屋・中村家住宅、一茶記念館など見所が多い。

第4回は10月28日、新町宿から牟礼に向かって歩く。リンゴ畑の中のゆるやかな上り道。江戸へ奉公に出る一茶を、父親が送つて来たという「三本松」から牟礼駅まではゆるやかな下り道。宿泊のため長野駅に戻り、翌日、電車で牟礼駅へ。牟礼宿には、本卯建が上がる鎌問屋の旧家が残る。佐渡から運んでき

北国街道の旅（第2報）

大屋駅から柏原宿へ



上田高校も訪ね正門の前で記念撮影



長野では善光寺にお参り